



石城梨の出荷續々

既に四千六百箱 東京市場の取引好相場 総額既に一萬圓を超す

石城梨は好作柄の上に東京市場の取引が格好な爲めに、郡聯合果樹の出荷品評會を催されてゐる等々の條件に誘はれ各組合から出荷を競はれて既に左記十四車を発送し、今二十二日は二、三車の出荷を見込まれてゐるが昨二十一日までの前記の發送箱数は約四千六百個に、最高二圓五十三錢で取引された一箱平均二圓三十錢位に當るので、總額一萬圓を超えたるものゝ如く各地の出荷は次の如くである

- ▲赤井村尾の内組合二車
- ▲同片石田一 北好間二
- ▲大野二 内郷村宮一 同内郷組合一 藥王寺二 上小川組合一(以上)

縣下武術大會

石城優勝

二等岩瀬三等福島

郷軍本縣支部の武術大會は去る廿日廿一日飯坂町警署射撃場と福島第四小學校に於て開催され、聯合分會から出場の選手並に役員約三百名の出席で、射撃は役員が銃術は石城軍刀術は福島市優勝綜合成績では石城郡が斷然群を抜き優勝旗は同聯合分會に獲得され、石城關係各項目の個人及び

石城産馬へ 國有種牡馬

五年間の貸下げ

石城郡産馬組合へ今國有種牡馬一頭を貸下げられたが種牡馬は、鹿毛四歳身高一米五三の優秀なもので、今九月二十日、五日から昭和十八年九月二十日まで、満五ヶ年間、飼養管理者は、田入村の入旅人、山田金太郎氏であると

東日本丸愈よ サンマ漁に活躍

今曉小名濱に晴れの入港

本縣下に於ける當業漁船の新港を出発し、今二十二日未明小東日本丸は東北興業會社の名義に入港、晴れの勇姿を見せ、造船費に對する縣の保證問題で、行儀んでゐるが去る十九日の縣參事會に於て伊藤を決定したので、淀泊中の神奈川縣三崎

戦地豫て念願の重任を 拜して其途に着く

石城郡飯野村出身 石田 宏

拜啓、その後は永々と御無沙汰を致しまして誠に申謝も御座りませんが、特筆の日は、いよいよ参りました、小兵の度かねて念願の重任を拜し其の途につき、〇〇日無事任地に到着いたしました、母國遙かに大陸に立ち、其の重責を痛感いたしました、共に胸を打つものは皆

自動車々輛検査

滋通五警察署管下に於ける自動車々輛検査は、平市八幡小路の検査所である二十六日から四日間行はれる

常識講座

師ヨシマンは見世物師または劇場主のことだ、軍にシヨト云へば非常なテノボの早いダンスの一種、見世物寄席、劇場などの謂、シヨールームは物を列べる陳列室のこと

何れその中に吉報

前略にて申上げます、其の後もついで皆様に御元氣にて御過ごし遊ばされ居ること、御察し申上げます、小生も御陰謀にて相變らず元氣、八月下旬、中支〇〇軍〇部隊に参加いたし、目下大〇〇〇の戦隊下に大活動中でございます、恐しき報導は只今のところ許されませんから、何れ其の中御知らせの出来る時期がございませう、陣中多忙、ではこれに失禮いたします、皆々様の御健康を御祈り申上げます、さようなら、

満州事情の 紹介映画

平市後援の満洲會社館内所主催する満州事情紹介活動寫真出張映畫會は、来る十一日午後六時半から市公會堂に於て開催されるが、入場料は無料、プログラムの左の如くである

- ▲内鮮滿遊の旅(預告篇)
- ▲向(滿州)三卷 曠原(移民映畫)三卷 漫遊(原原)三卷 蒙古風(原原)三卷 北山山會(滿州)三卷 大金剛山の巔(劇場)八卷 以上

小川江の大堰改修

石城郡小川江の取入口大堰の改修は、年來心組まれてゐたが、今二十二日急上着工した同堰は、天然堰として著名なもので、現状を改修するものでなく、中央部の鐵床が腐朽したる修理であるが、工費約一萬圓を要し、尚ほ同時に水路の改修も施行される由である

名譽の戦傷

▲麻原吉五郎准尉、平市杉平出身、平商業學校教諭から、應召兩角部隊下に活躍されてゐたが、富金山附近の戦で名譽の戦傷をなせる旨、家へ通知があり、近親は一日も早く平郷再出陣を祈つてゐる

局長賞

平機關區では、既に三ヶ年間の責任運轉事故皆無の成績により、東京鐵道局長から賞状並びに金杯の表彰を受け、昨二十三日前午九時局長長崎徳之助氏、縣多賀郡聯合の武選長久泰射

史家の態度を明にす

右の如く、比佐氏や同地の有志に惜しくも死去せられた前町長石川徳義氏の助力で、その吉野畑跡だけは現在の湯本町大字湯本小学三箇字に

慰靈祭

平第一小學校では、昨廿一日の彼序入りに同校講堂に於て左記物故職員慰靈祭を執行終つて代表職員生徒が墓参す

豫選射撃

縣下中等校射撃大會へ出場する選手は、射撃中、中商、双中相、相中の五校であるが、此の豫選射撃は、来る十月二日、双葉郡浪江町射撃場に於て行はれるが、石城郡からの選手は左記に決まつた

飯野八幡で 武選の奉射會

平市外石城、双葉二郡及茨城縣多賀郡聯合の武選長久泰射撃會支部、第三小學校児童

井上家寄附

平市五丁目井上貞次郎氏は、父茂作翁の遺志により、市内の學校及び各種團體へ左記百八十圓を寄附された

物故職員慰靈祭

平第一小學校では、昨廿一日の彼序入りに同校講堂に於て左記物故職員慰靈祭を執行終つて代表職員生徒が墓参す

運動の合格者

過般行はれた自動車運轉手試験、平地方の合格者左の如し

井上家寄附

平市五丁目井上貞次郎氏は、父茂作翁の遺志により、市内の學校及び各種團體へ左記百八十圓を寄附された

湯本の二史蹟に對して

右の如く、比佐氏や同地の有志に惜しくも死去せられた前町長石川徳義氏の助力で、その吉野畑跡だけは現在の湯本町大字湯本小学三箇字に

佐藤氏の寄附

平市古銀治町佐藤善次郎氏は、市の軍事後援會へ金五十圓を寄附されたこと、既報の如く、左記七十圓を寄附された

過失傷害三十圓

石城郡内郷村の磐城炭礦坑運轉夫、淡山太郎(三)は、去月十二日運轉を誤り、炭車を脱線、運轉せしめ、傍らに作業中の人夫二名に過失傷害を與へ、平區から罰金三十圓を處する

只飲の上に暴行

石城郡内郷村の宮字、太郎居住探検夫、田所三太郎(三)は、去る十七日午後八時、同村の富士食堂で無銭飲食したる上、店内で暴行を演じて、平署に檢舉された

湯本の二史蹟に對して

右の如く、比佐氏や同地の有志に惜しくも死去せられた前町長石川徳義氏の助力で、その吉野畑跡だけは現在の湯本町大字湯本小学三箇字に

農業革命

代挿法

種子播かず
頭根を植える

◇代挿法(四月下旬頃)温
暖地方は早く(播種する)播
種と異なつて積る時乾燥
させぬ様灌水の調節を
することが最も重大なこと
のためには畦上に濡れ葉
を敷き温気を保ち早く根
を出すことが肝要である、

◇肥料、(基肥)腐熟堆肥四
五〇貫、大豆粕二五貫、過
磷酸石灰一五貫、人糞尿二
〇〇貫、(追肥)三週間目位
より薄き人糞尿を與へる、
第一回(四月二十五日頃)播
きの一五〇貫、第二回(五
月三十日頃)播きの一五〇貫、第三回(八月十日頃)
同二〇〇貫、施肥の給與過
過ぎる時は葉の徒長を招
き早過ぎれば肥抜けし生育
衰へる時期を選ぶことに注
意、

◇收穫、十月下旬頃根身十
分肥大して一株五百乃至
七百乃至に達したなら丁取
に掘取る、根身は八本乃至十
二本で掘抜きを非常に困難
する、

◇成績、(一畝歩當り)本數
二六〇本、收穫高三十一回
十餘、畝獲一八貫、

◇肥料代、大豆粕二貫五〇
〇(九分餘)堆肥四五貫(自
給自足)下肥七〇〇貫(二
五錢)過磷酸石灰一貫五〇
〇(三七錢)差引純益高一八
四五三錢、

以上の如くであるが山崎君
は米麥、玉蜀黍、養蠶を主業
業とし其の片手間に蔬菜を栽

培してゐる、この研究の動機
は同君の村即ち北部岳麓一帯
は蔬菜が非常に不振である、
それは農家が安いから買つた
方が得だと平氣で他から購入
してゐるためである、農家に
しては農作物を買つて食へるこ
とが農民の立場であらうか
と奮起、自給自足栽培を目指
して過去六年苦心研究を重ね
た結果遂に輝く榮冠を得るに
至つたものである(終り)

皇軍戦勝二冬品會の第一線に立つ

ツルヤ 電一四〇
豊富陳列 漸新型

子供帽子 中折帽子

印刷部

産科 院長 木村寅次郎
婦人科 醫學博士 内木宗八
外科 藥劑師 大岩俊雄

平市新川町九一
入院隨意 病室完備

木村病院 電話一六四番

債券 公債 兩替 金融

多田井質店 平市大工町 電話五九一番

價之低 質之高

和洋雜貨 山崎商店

平市南町一丁目

便利で 經濟な 日下家政婦會の
派出婦を御利用下さいませ

身元確かで品行方正ですから
何をお任せしても安心です

日下家政婦會 會長 日下すい子
電話七二三番

内科、小兒科 平市田町 電話五二三番

外科、花柳病科、
耳鼻咽喉科、
レントゲン科

高久病院 院長 醫學士 高久忠

平病院 (平市元共濟病院跡) 電話六四一番

院長 醫學博士 鈴木定藏

内科 部長 鈴木定藏
小兒科 部長 佐藤幾要司
皮膚泌尿器科 部長 高橋俊幸
物理療法科 部長 鈴木定藏
藥劑科 部長 吉本孝平

診療時間 毎日午前八時より午後九時まで
夜間診療に従事す(急患は此の限にあらず)

諸毒下痢の大妙藥

安流丸

特約 山野越藥局

新時代の要求

平市南町 平看護婦會 電話三〇七番

御手不足の御家庭
軽い御病人の付添
妊婦産婦の御家庭

專門 皮膚泌尿器科 性病科

診療時間 午前八時より午後九時まで

醫學博士 江尻伊三郎 平市田町 電話六九一番

院醫尻江

代表城磐 酒銘

味美 經濟 料理

山崎合名會社

診療科目

一、齒科 一般
保存科、補綴科、鑲嵌架工科、
齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、

一、口腔外科
一、レントゲン科

平市田町(松月堂向) 電話五〇九

中野齒科醫院 院長 日本齒科醫學士 中野忠次
日本齒科醫學士 堀谷伍郎
補綴部主任 佐藤重義